

30P1-am031

アフリカ民族生薬 *Monanthes trichocarpa* 茎のアルカロイド成分

○西山 由美¹, 石田 雄一¹, 吉野 拓矢¹, 加藤 篤¹, 守安 正恭¹ (¹神戸薬大)

【目的】アフリカ民族生薬の研究の一環として、主に鎮痛を目的として利用されている生薬の成分並びに活性について検討している。*Monanthes trichocarpa* は、東アフリカに分布するバンレイシ科の植物で、ケニア国では頭痛の際に地上部を煎じて用いられている。これまで、鎮痛を目的として利用されているバンレイシ科植物においては、アルカロイドを多く含有し、また鎮痛活性成分もアルカロイドであった。そこで、今回、鎮痛作用を持つアルカロイド又は新規アルカロイドを期待して *M. trichocarpa* 茎の成分検索を行った。

【実験・結果】*M. trichocarpa* 茎の MeOH エキスについて、酸-塩基を用いた一般的なアルカロイド抽出法により 2、3 級アルカロイドを、さらに過塩素酸ナトリウムを用いたイオン対抽出法により 4 級アルカロイドを得た。各画分はフォトダイオードアレイ検出器を用いた HPLC 分析で良好な分離を示し、得られた UV スペクトルからイソキノリンアルカロイドを含有する事がわかった。そこで、prep.HPLC に移行して各成分を単離し、NMR 及び MS スペクトルによりその構造を決定した。また、絶対配置は旋光度または CD 検出器を用いた HPLC 分析により決定した。

今回、2・3 級アルカロイド画分から 12 種（アポルフィン型 8 種、ベンジルイソキノリン型 2 種、プロトベルベリン型 2 種）、4 級アルカロイド画分から 2 種（アポルフィン型 1 種、プロトベルベリン型 1 種）のアルカロイドを単離・確認した。これらは、全て既知化合物であったが、本植物の成分として初めて確認されたものである。今回抽出した本植物の茎のアルカロイド含有量は低く、比較的大きいピークのみしか成分を検索できなかった。さらに本植物を入手し、他の成分ならびに活性についても検討したいと考えている。